

作並・新川地区の魅力の増進による 活性化推進事業



NPO法人作並・新川地区活性化連絡協議会

1. 事業実施団体について

事業実施団体の概要

団体名A

NPO法人 作並・新川地区活性化連絡協議会

<団体の紹介>

作並・新川の住民や企業等が、この地域の活性化を図るために、平成29年9月に設立した団体
令和2年4月に法人化。

団体名B

作並地域連合町内会
(旧作並小学区連合町内会)

<団体の紹介>

作並小学区の3町内会
(作並町内会, 新川町内会, ハイランド自治会)によって構成している連合町内会

団体名C

作並温泉旅館組合

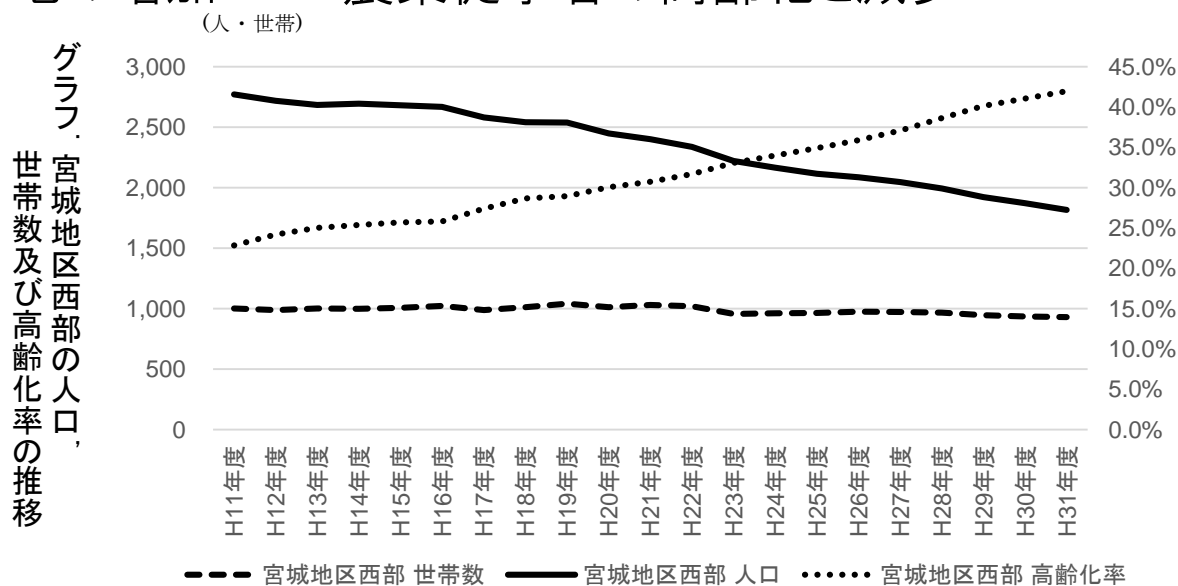
<団体の紹介>

作並温泉郷の振興を目的として、一の坊, 岩松旅館, 湯の原ホテル, green greenの4つの旅館によって構成している団体

2. 令和2年度の実施内容

(1) 課題

- 人口から見た課題
 - ・ 人口減少と高齢化(高齢化率42%) ← 地域の魅力, 暮らしやすさの不足
 - ・ 若年層の流出
- 産業面から見た課題
 - ・ 入れ込み数の低迷 ← 観光客をひきつけるコンテンツの不足
 - ・ 休耕地の増加 ← 農業従事者の高齢化と減少



2. 令和2年度の実施内容

(2) 事業の目的

【最終的に目指す姿】

①持続可能な生活の確保

- ・ 子どもからお年寄りまでみんながいきいきと安心して暮らせる地区

②地域の魅力の増進

- ・ 地区ごとの個性を活かし，地域外の住民に魅力を発信し，交流人口を拡大できる地区
- ・ ふるさとの原風景を活かし，地区住民の幸福度を高め，誇りを持って生活できる地区

③定住人口の拡大

- ・ 子育て世代からお年寄りまであらゆる世代が安心して定住できる地区
- ・ 移住者も分け隔てなく溶け込みやすい地区

④地元雇用の充実

- ・ 雇用機会が充実し，生活に応じた生計を見通せる地区

2. 令和2年度の実施内容

(3) 令和2年度事業の目標と実施状況

(1) 観光資源の整備及び観光資源の案内看板の整備

➡遊歩道、登山道のリストを作成し、優先順位を決め調査を行っている

(2) 観光マップの作成

➡マップの作成に向けた現地調査を実施し、形や掲載内容等を検討中。

(3) 観光プロモーションの実施

➡シンボルマークを公募により作成した

➡地域紹介用ホームページを作成し、日々更新している

➡各調査をとりまとめ、観光プロモーション計画を作成する予定

(4) 観光案内人の養成

➡案内人候補者を選定し、観光ルートの視察を実施中

➡ガイドマニュアル素案を作成中

(5) 閉校施設の活用事業の実施

➡新川分校の校庭を利用したキャンプを実施した

2. 令和2年度の実施内容

(4) 事業の実施体制

当該地域では、人口減少と高齢化が進み、人的、資金的資源が限定されていることから、地域活性化を推進するためには、地域で活動している団体等が力を合わせ、それぞれが持つ知識、技能、マンパワーを発揮することで、効率的に事業を進める必要がある。

作並・新川地区 活性化連絡協議会

効率的に地域活性化の取り組みを進めるため、各団体の連携を図る部分は、協議会が担う。

申請事業における
団体の役割

作並地域連合町内会 (旧作並小学区連合町内会)

埋もれている魅力ある地域資源を発掘し、整備し、また、運用していく部分は、地域の知識とマンパワーを有する連合町内会が担う。

作並温泉旅館組合

地域資源を効果的に活用し、観光プロモーションを実施するといった部分は、地域の観光事業者である作並温泉旅館組合が担う。

2. 令和2年度の実施内容

(5) 事業スケジュールについて

当初スケジュール。新型コロナウイルス感染症の影響により、6月頃からの活動開始となった。

月	事業実施内容	
4月	<ul style="list-style-type: none"> 観光アドバイザーとの契約 地域公募によるシンボルマークの募集 	<ul style="list-style-type: none"> 遊歩道、名所旧跡等の調査等の実施 作並温泉組合との意見交換会 地域紹介用HPの本格運用の開始
5月	<ul style="list-style-type: none"> キャンプ場開放事業の開始 	<ul style="list-style-type: none"> (仮称)新川田植踊保存会の立ち上げ 観光案内人制度の検討
6月	<ul style="list-style-type: none"> 観光マップ案の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 看板デザインの検討
7月	<ul style="list-style-type: none"> 第1回キャンプ企画の実施 シンボルマーク案の選考、決定 	<ul style="list-style-type: none"> 遊歩道、名所旧跡等の優先順位の検討
8月	<ul style="list-style-type: none"> シンボルマーク案の公表、表彰式 	<ul style="list-style-type: none"> 遊歩道、名所旧跡等のリスト化
9月	<ul style="list-style-type: none"> 第2回キャンプ企画の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 観光案内人の募集
10月	<ul style="list-style-type: none"> (仮称)作並・新川地区観光プロモーション計画の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 名所旧跡等への看板の設置
11月		<ul style="list-style-type: none"> 観光案内人研修の実施
12月	<ul style="list-style-type: none"> 観光マップの作成 	
1月		
2月	<ul style="list-style-type: none"> (仮称)作並・新川地区観光プロモーション計画の完成 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> 地域説明会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 事業成果発表会の実施

(6) 使用経費について

事業費総額 482万円

<収入内訳>

会費, 協賛金等 28万円
 委託料 160万円
 補助金 294万円

<支出内訳>

人件費 132万円
 委託料 150万円
 消耗品費 99万円
 印刷製本費 55万円
 報償費 15万円
 その他 31万円

3. 具体的な取り組みの紹介

(1) 観光資源の整備及び観光資源の案内看板の整備事業

①遊歩道、登山道調査と選定

◆遊歩道、登山道のリストを作成中

➡リスト内で優先順位を決め、今後実地調査を予定

②案内看板の設置

◆案内看板設置予定の5箇所を9月13日に調査

➡現在土地所有者と交渉中



3. 具体的な取り組みの紹介

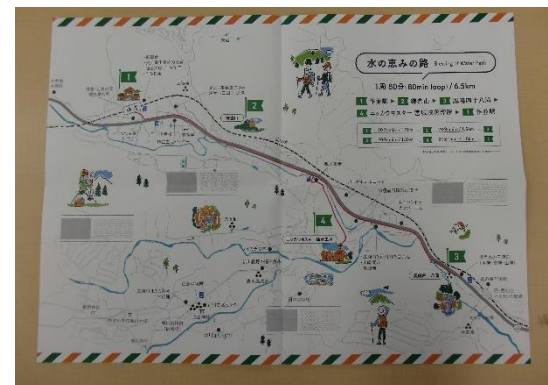
(2) 観光マップの作成

① 地域周遊観光マップの作成

◆ 昨年度部会で設置した作並駅ウォーキング看板『SAKUNAMI NIKKAWA Walk』を元に、3~4種類のウォーキングマップを作成するため、9月13日、29日に現地を調査



◆ 観光マップの形を検討中



3. 具体的な取り組みの紹介

(3) 観光プロモーションの実施

① 地域紹介用ホームページの運用

◆ ホームページ担当者を決定→新着記事約45件→順調に運用中



② 観光プロモーション計画の作成

◆ 各種調査を終了後、観光アドバイザーのアドバイスのもと作成予定

3. 具体的な取り組みの紹介

(3) 観光プロモーションの実施

- シンボルマークの公募
 - ◆募集期間：8月7日～9月7日
 - ◆応募資格：作並新川地区在住、勤務の方
 - ◆募集内容：シンボルマークの「デザイン」と「メッセージ」
※デザインが描けない方は文章のみでの応募も可

- シンボルマーク審査会の開催
 - ◆開催日：令和2年9月30日
 - ◆応募総数：43作品（34名）
 - ◆会場：新川分校体育館
 - ◆審査委員：協議会の各部会長などから9名。第一広告社、温泉組合などから2名。

- シンボルマークの表彰式
 - ◆開催日時：令和2年10月10日（10時10分から開始）
 - ◆授賞式：特賞1名、入選2名、デザイン賞5名、作並新川賞5名
 - ◆賞金：総額10万円 3割増し商品券

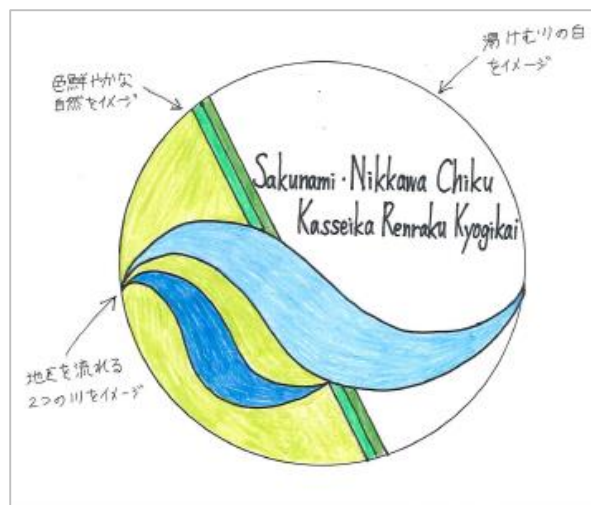
3. 具体的な取り組みの紹介

(3) 観光プロモーションの実施

完成したシンボルマークと、上位入賞作品



シンボルマークの完成
(ハイランド地区在住の
デザイナーによる校正)



特賞の作品
(中学2年生の作品が受賞)



入選の作品①



入選の作品②

3. 具体的な取り組みの紹介

(4) 観光案内人の養成

① 地域の名所旧跡の案内事業

- ◆ 9月13日に部会長を案内人、部会員等を観光客と想定し、作並駅ウォーキング看板『SAKUNAMI NIKKAWA Walk』にある「水の恵みの路」の案内を実施
- ◆ 案内人候補者が決定
- ◆ ガイドマニュアル素案を作成中



3. 具体的な取り組みの紹介

(5) 閉校施設の活用事業の実施

➤ ①事業名：『学校でキャンプ』

◆日時：8月29日～8月30日、9月12日～9月13日、10月10日～10月11日

◆会場：新川分校跡施設

◆申し込み総数：8組 31名

◆内容：新川分校をキャンプ場として開放
キャンプ道具の貸出

※8組の申し込みがあった10月10日～10月11日の
キャンプ開放については、台風の接近に伴い中止

キャンプイベント時の校庭の様子



➤ ②事業名：『学校でキャンプ イベントDAY』

◆日時：10月3日～10月4日

◆会場：新川分校跡施設

◆参加人数：キャンプ参加者8名 缶バッチ作り参加者15名

◆内容：新川分校をキャンプ場として開放

天体望遠鏡やキャンプ道具の貸出の他、ドラム缶風呂を実施

翌日4日に、むかい生き物研究所のむかっち博士に依頼し、オリジナル
缶バッジ作りを実施

◆収入合計：5,200円（参加料、キャンプ道具貸出料）

4. 今後の展開

事業の成果と今後の展開について

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の影響により、年度当初は活動が制限されたが、6月頃より活動を再開し、シンボルマークの作成、閉校施設を活用したキャンプ事業などを実施することができた。

今年度内には、観光案内版の設置や、観光マップ作成と観光案内人の育成により、作並・新川地域を周遊できる環境を整える。

【今後の展開】

作並・新川地区に居住する住民が少しでも長くこの地区で幸せに生活していくため、また、多くの方にこの地域の魅力を感じてもらうため、「作並・新川地区活性化プラン」に掲げる4つのビジョンの実現に向けて、活動を推進していく。

- ① 持続可能な生活の確保
- ② 地域の魅力の増進
- ③ 定住人口の拡大
- ④ 地元雇用の充実